

恩納村平成23年度決算の財務諸表

貸借対照表(バランスシート)

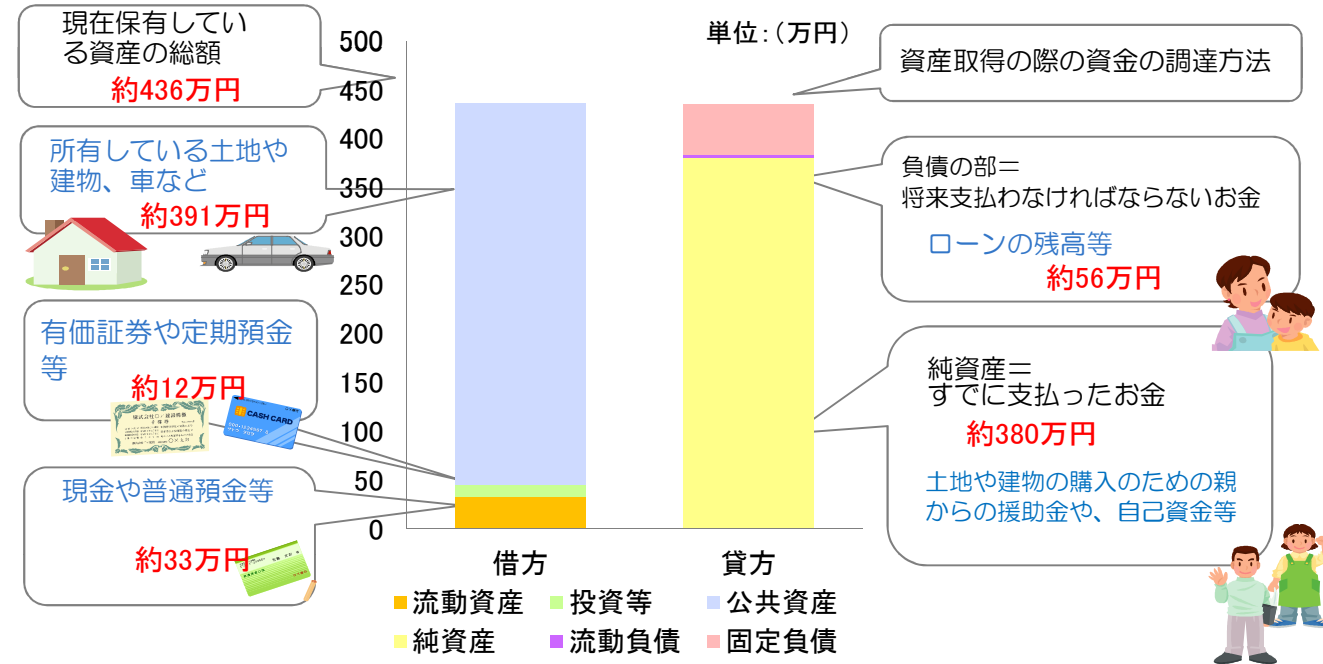
貸借対照表(バランスシート)は、会計年度末に恩納村が保有している資産と、その資産を取得するために使ったお金の調達方法を表しています。現金の収支に注目するこれまでの決算書では表示することができなかった、恩納村の財産や負債など、これまでの資産形成の結果を知ることができます。

【資産の部】		【負債の部】	
公共資産	40,995,635	固定負債	5,447,175
投資等	1,236,868	地方債	4,431,186
投資及び出資金	129,148	退職手当引当金	1,015,989
基金等	926,207	その他	0
その他	181,513	流動負債	410,161
流動資産	3,471,639	翌年度償還予定地方債	359,517
現金・預金	3,456,640	賞与引当金	50,644
(うち歳計現金)	468,575	その他	0
未収金	14,999	負債合計	5,857,336
資産合計	45,704,142	【純資産の部】	
		純資産合計	39,846,806
		負債+純資産合計	45,704,142

単位:(千円)



貸借対照表を住民1人あたりに換算すると...



～貸借対照表の主な分析指標～

流動比率
 翌年度支払い予定の負債額に対して、すぐに支払いに充てることのできる現金・預金がどのくらいあるのかを示す指標です。
 (流動比率=流動資産÷流動負債)
恩納村の流動比率 = 846.41%

純資産比率
 現在所有している資産について、現世代でどのくらい既に支払っているかを示す指標です。
 (純資産比率=純資産÷資産総額)
恩納村の純資産比率 = 87.18%

純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の部の増加要因と減少要因を計上し、純資産が1年間でどのように変動したのかを示しています。純資産の増加要因には、行政サービスの対価として支払われる以外の収入(税収や国・県からの補助金等)があり、減少要因には、行政コスト計算書で算出される純経常行政コストや災害復旧等で臨時的に必要となった支出等が計上されます。

前年度末の残高	39,312,631
純経常行政コスト	-5,794,009
経常的な収入	6,572,306
臨時損益	-95,028
その他	-149,094
当年度末の残高	39,846,806

単位:(千円)

純資産が前年度よりも増加した場合は、負債の増加より資産の増加のほうが多かったことを示しています。逆に純資産が減少した場合は、行政コストが多かったこと、または、資産の増加より負債の増加が多かったことを示しています。

行政コスト計算書

行政サービスを提供する際に発生する支出のうち、資産の取得(土地や建物の購入等)にかからない支出と、行政サービスの対価として得られた収入を計上しています。純経常行政コストがマイナスになっていますが、これは行政コスト計算書上の収入に、行政サービスの直接的な収入のみを計上しているためです。

区分	金額
経常費用	6,069,537
人にかかるコスト	1,061,160
物にかかるコスト	2,606,294
移転支的コスト	2,320,306
その他のコスト	81,777
経常収益	275,528
使用料・手数料	155,218
分担金・負担金・寄附金	120,310
純経常行政コスト	5,794,009

単位:(千円)

職員給与のほかに、賞与引当金や退職手当引当金の繰入額が計上されます。

物件費のほかに、施設の維持補修費や減価償却費が計上されます。

その他のコストには支払利息などが計上されます。

移転支的コストには社会保障の給付や他会計への繰出金等が計上されます。

行政サービスの直接的対価である使用料・手数料と分担金・負担金・寄附金を経常収益として計上します。

1年間の行政コストを年収360万の家計に換算すると...

